



環境保全米通信



環境保全米の生き物調査特集



【もくじ】

- 1 みやぎの環境保全米は生き物調査を行っています。
- 2 台風19号被災地への復旧応援：マイナビレディース
- 3 環境保全米県民会議・赤とんぼ食堂：新米・新酒を味わう会



アンケート大募集
応募者プレゼントも！
くわしくは最後のページへ！！



みやぎの環境保全米とは？
環境保全米県民会議とは？



みやぎの自然豊かな環境を守るために、農薬・化学肥料を宮城県の標準的使用量(※)の半分に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが「みやぎの環境保全米」です。

そんな「みやぎの環境保全米」を広めるため、県内の消費者・生産者・マスコミ・関係機関・団体が一体となり2007年に設立されたのが「みやぎの環境保全米県民会議」です。

※宮城県の標準使用量
化学農薬 17 成分、化学肥料（窒素成分）7kg/10a

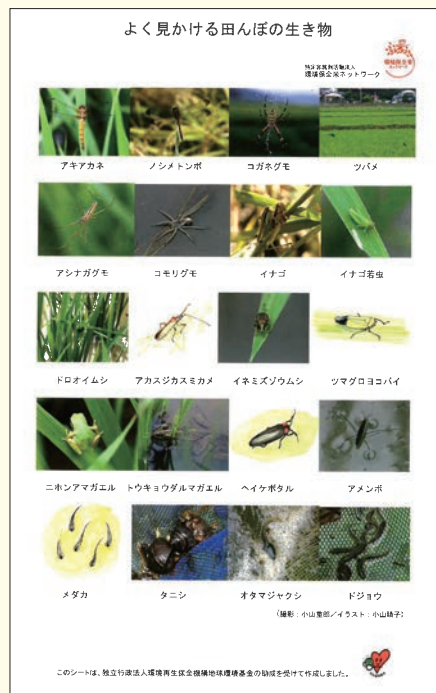
1 環境保全米づくりで取り組む生き物調査

みやぎの環境保全米県民会議で取り組んでいる安全・安心なお米「宮城の環境保全米」には3つのメリットがあります。1つめは、水や土を守り、生き物を守ることができる。2つめは、安全・安心なお米を届けることができる。3つめは、安定した食料供給に貢献できます。今回の環境保全米通信の特集は、第1のメリットである水や土を守り、生き物を守る取り組みについて紹介します。

環境保全米づくりでは、第三者認証機関がおこなう生き物調査や農協が取り組む生き物調査、JAS 有機米や無農薬米に取り組む生産者が行う生き物調査、生産者と消費者が連携して行う生き物調査とさまざまな生き物調査が行われています。

1 環境保全米ネットワークの生き物調査

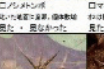
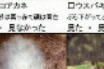
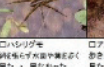
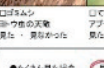
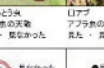
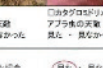
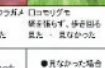
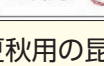
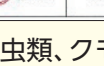
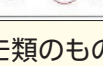
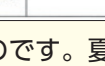
みやぎの環境保全米の第三者認証を行っている環境保全米ネットワークの生き物調査は、右図のような20種類の生き物シートを使って田んぼの生き物が、多くいる、普通、少ないに分けて目視でカウントしています。「よく見かける田んぼの生き物」で、トンボ類、クモ類、ツバメ、イナゴ類、イネミズゾウムシなどの害虫類、アメンボ、カエル、ドジョウ、ホタルなどです。この生き物調査を農法別（JAS 有機、無農薬・無化学肥料栽培の田んぼ、減農薬・減化学肥料の環境保全米Cタイプの田んぼ、慣行栽培の田んぼ）に、今年も各農協に依頼した調査票を集計しているところです。次回の通信で結果を報告いたします。



2 JA が取り組む生き物調査

農協（JA）が独自に取り組む生き物調査も、宮城県内の多くのJAで、様々な規模で行われています。今回はJA みやぎ登米の、環境保全米の田んぼの生き物調査を紹介します。この取り組みは、平成18年間から始まり今年で14回目を迎えました。令和元年6月15日の調査には、生産者、あぐりスクール生、コメ卸業者、農薬メーカーなど関係者150人が集まりました。生き物調査は、南方町と東和町の5つの圃場（田んぼ）で行われ、写真のように雨の中を田んぼの中に入って生き物を採集しました。採集した生き物を写真のようにトレイに分けて分類をおこないました。南方アグリスクールの子供たちの班では、ドジョウ、トウキョウダルマガエル、ニホンアマガエル、アメリカザリガニ、ヨーロッパカブトエビ、トゲカイエビ、アキアカネの幼生、ノシメトンボの幼生など珍しい生き物も多く含まれていました。鑑定を担当した谷幸三先生は、豊かな生き物の生態系に感心していました。



田んぼの生き物調査 調査シート 夏～秋						生き物調査シート
調査日	令和 年 月 日	調査者	調査地			
天候	晴、くもり、雨					
気温	4	観察方法	夜間電、 植物、 JAS			
昆虫類 トンボ 益虫 ● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する ※ 幼虫を水の中や池で、 成虫を畑を飛んでいる					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③トンボ ④トンボの幼虫	
● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③トンボ ④トンボの幼虫	
クモ類 益虫 ● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③クモ ④クモの卵	
● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③クモ ④クモの卵	
昆虫類 たんこ虫 ● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③たんこ虫 ④たんこ虫の卵	
● 見られた場所 田中、水田、畑など ● 田んぼでの役割 害虫を食する					①の池見られた場所 コナキアキ ②水田、畑など ③たんこ虫 ④たんこ虫の卵	

ワークシートは、夏秋用の昆虫類、クモ類のものです。夏秋用には、昆虫（ユスリカ、ガガンボなど）のワークシートもあります。水生昆虫類（アオミドロなど）、貝・エビ類（カイエビ、カブトエビ、カエル類、クモ類が対象となっています。また、水生昆虫（フナなど）、鳥類（サギ、ツバメ、ガンなど）も調査対象の観察を行っています。昨年の報告書では春夏が6月22日～保全米作りの目的の1つである生物の多様性を保全しながら

生きものを探そう

2 令和元年台風 19 号災害 支援活動を実施いたしました



マイナビベガルタ仙台レディース（株式会社ベガルタスポーツクラブ）では、11月19日（火）日本各地に甚大な被害をもたらした「令和元年台風19号」の被害を受けた宮城県丸森地区の野菜生産者を訪問。クラブからは選手・スタッフ・クラブ職員が参加。JA みやぎ仙南 丸森支店様、みやぎ生活協同組合様、ベガルタ仙台レディース後援会のご協力もいただき、土砂撤去作業などを2班に分かれて行いました。約4時間の作業の中でみえたのは、選手たちが少しでもこの状況を良くしたいという思いでした。泥まみれになりながら土砂をかく選手、流れてきた板を運ぶ選手、自宅内の清掃に励む選手。短い作業時間となりましたが、チームとして協力し、少しでもお役にたてたのであれば幸いです。

3 環境保全米「赤とんぼ食堂」新米・新酒を味わう会

11月26日の18:00から、JAビル地下のさなぶりで、赤とんぼ食堂・新米と新酒を味わう会が26名の参加者でにぎやかに行われました。会には本田強環境保全米ネットワーク前理事長をはじめ佐々木前理事、JA みやぎ登米、南方水稲部会、ベガルタ仙台、MELON、一ノ蔵の皆さんの他たくさんの方が集いました。新米は、JAS有機生産農家の黒澤重雄さんから提供された、ササニシキ、ひとめぼれ、つや姫、だて正夢を味わいました。新酒は一ノ蔵さんから、新酒の特別純米生原酒しぼりたて、本醸造しぼりたて生原酒の他、環境保全米を原料にした山廃純米大吟醸、特別純米酒大和伝、山廃特別純米酒円融の合計5種類の酒を堪能しました。宴たけなわになると、やはり話題は今年の米の出来となり、改めて、環境保全米運動で取り組んできた疎植*や品種に応じた適期の田植えの重要性が確認されました。



*疎植とは？通常の1坪あたり60～70株植えに対して、40～50株で植える栽培方法

ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、
環境保全米2kgを10名様に

Q1 興味をもった記事は？その理由も。

Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。

●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

・アンケートの回答 ・希望のプレゼント ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話(FAX)番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理し、プレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

●応募締切

2020年2月20日 ※抽選結果は発送をもって代えさせていただきます。

●応募先

NPO 法人 環境保全米ネットワーク事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JAビル別館 5F

TEL 022-261-7348 FAX 022-261-7488

Email okome@epfnetwork.org

URL <http://www.epfnetwork.org/>

環境保全米

検索

【アンケート記入例】

●アンケートの回答

Q1)-----

Q2)-----

●名前 保全米 太郎

●年齢 40歳

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区上杉

1-16-3

●電話番号

022-261-7348